

旭川大病院ニュース

題字は吉岡前病院長
 [編集]
 旭川医科大学医学部附属
 病院広報誌編集委員会
 委員長
 久保教授(第1外科)

年頭にあたって

病院長
 鮫島夏樹

明けましておめでとうございます。例年ない暖冬の新年を迎えましたが、今年もよろしく願います。厳しい看護婦問題などの諸条件は今後も余り変化はないと思われれますが、院内各部門の業務の見直しなど合理化を一層推し進めて、大学病院として働き易い環境整備に努力したいと思えます。昨年を振り返ってみますと、二月には病院の情報化に向けて入退院・処方など



のオーダリングを開始し、十月には検査オーダーなどが採り入れられ、懸念していた混乱もなく、各方面の協力を得て順調に軌道に乗りつつあります。既にこれらの効果が、オーダリング実施前の平成元年七月と、実施後の平成二年七月に行った外来患者のアンケート調査に依っても、待ち時間の短縮など患者サービスとの点で明らかな改善が見られますように、有形無形な形で認められますことは喜ばしいことであり、以前から二、三の診療科から要望されていた外来診療日の増加も十月から実施することが出来、早速その結果が外来患者数の増加に表れたのも、一部はこれら情報化の影響によるものであります。今年度は更にその他の重要部門の情報化が実行に移されることが期待されます。懸念の病歴及びレントゲン写真の処理方

法も、十年以上経過分は抜粋を残して処分するという基本原則で対処することとなり、各診療科の協力を希望します。実際の面でかなりの困難性が予想されますが、本年早々から実行に移されることとなります。同時に、従来の病歴の形式を次代に対応出来るよう、抜本的な見直しを新しい委員会を設けて検討されることになると考えています。昨年は、病院経営改善委員会が発足し、病床稼働率の向上や歳出面の節約など各方面に渡り見直しを図ることになり、既に二、三の提案がなされましたが、今後とも皆さんのご理解をお願いします。

本年は週四十時間勤務の試行の時期に入りますが、土曜日の外来診療を現行通り行うとすれば、二、三の部門では現在の要員のままでは実行不可能というデータがあり、土曜日休診の形でしか考えられない実状であります。今後可能な道を模索することになりましよう。また、保険報酬の翌

事務局長 菅沼

病院の皆様新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたって、皆様の日頃のご尽力に心から敬意を表しますとともに厚く御礼を申し上げます。

私が、昨年四月の着任後大過なく九か月を過ぎ、無事新年を迎えることができ



月請求も実施することになります。一昨年以来、看護婦さんの不足に悩まされ続けました。幸い鹿児島大学のご好意で三人の看護婦さんの協力を仰ぐことが出来ました。我が国の看護婦さんの絶対数が少ない上、現在、病床数に比し看護要員の不足が最も著しいという北海道の特殊事情も影響があると思われまますが、今年も何らか

ましたのも偏に皆様のご支援とご協力のお蔭と深く感謝している次第です。年があらたまりますと思議なもので、私のように五十ウン回目を迎える新年でも何とはなしに心身ともにリフレッシュして、新しい年にかける期待が膨み、常日頃は心の片隅にしまっておいた夢や希望などを今年こそは実現達成させようという殊勝な気持ちになります。私でさえこんな気持ちになるのですから、若い人達の新年にかける期待は大変大きく、また楽しいものが多いのではないのでしょうか。今年こそ恋人や結婚を、あるいは運転免許など資格取得をという思いを抱いた人が沢山おおいでになるのではないのでしょうか。でも、新年にかける思いを口にするのは、中々しに

の対策を迫られることと思えます。然し、これらの状態に諦めることなく、積極的に病院内の実績の向上に努力されますよう希望します。今年には医療法の改正もあると思いますが、我が国の医療が大きく変わらんとする今日、時代の先端を切るのが大学病院であり、従って、新しい意欲を燃やして、今年一杯努力される事を願います。

くいようです。本当は「私は今年にかけるこんな素晴らしい夢があるんだ」と大声で叫ぶことができると思います。いろいろな思いがそれをさせないようです。したがって、私が年頭にあたって抱いた思いや今年にかける期待などは残念ながら、ここでそのすべてをお知らせできませんが、その中の少しぐらひは今年中に「実は、これは年頭に思った今年の抱負の一つなんだ」とお知らせしたいと思っております。それでは、折角年頭に抱いた殊勝な思いを誰にも言わないのかというところであります。毎年除夜の鐘を合図に初詣に出かけます。心身ともにリフレッシュしたところで、近くの神社に家族揃って健やかに新年を迎えることができたことを感謝するとともに新年にかける思いを祈願します。皆様だけにはお知らせしてその御加護を願うわけです。初めて旭川で迎えた新しい年、これまでになかった気持ちの高まりを覚えます。この一年、皆様のご支援とご協力の下、私共の病院が、なお一層患者さんに信頼される病院となるよう、また、私共にとつて働きがいのある職場となるよう、

病院長を補佐していきたいと思つていきますので、よろしくお願い申し上げます。最後に、新しい年が皆様

診療科紹介

皮膚科学講座は昭和五十一年に先代の大河原 章教授により開設されました。その後昭和六十一年、飯塚

一教授が教室を引き継がれ、道北地方の皮膚科診療の中心として、また医学教育、研究の中心として貢献すべく尽力してきました。開設当初は四名であったスタッフも現在では二十二名に増え、毎日の診療、研究に従事しています。

外来診療は月、水、金曜日の新米を飯塚教授、松本講師、松尾が担当し、月、火、水、金曜日の再来日を各医師で分担して診療しています。病棟は泌尿器科と同じ七階西病棟に二十二床を保持しています。旭川医大開設当時は、皮膚科という診療科が旭川市内だけでなく道北地方全体に少なく、患者さんになじみがなかったため外来を訪れる患者数も多くはありませんでしたが、その後順調に外来患者数が増加し、皮膚疾患の特殊性が徐々に一般の方々に理解されてきているものと

にとつて素晴らしい年となるよう祈念して、拙文を終らせていただきます。

現在の所、特殊外来は設けていませんが、皮膚疾患全般を取り扱う中で当教室の大きな研究テーマである尋常性乾癬は、その病態の解明に努力すると共に、治療に種々の方法を取り入れていきます。特に、最近になりようやく保険診療が可能になりました。長波長紫外線療法(PUVVA療法)を積極的に取り行っており、開設当時より設置してある全身照射装置により、非常に良い治療成績を得ています。PUVA療法は尋常性乾癬だけでなく、掌蹠膿疱症、類乾癬などの炎症性皮膚疾患、あるいは菌状臍肉腫といった細胞由来の悪性リンパ腫の治療にも用いられており、現在外来に二台ある紫外線



照射装置はフル稼働の状態です。多数の患者さんが入院あるいは外来通院で治療を受けています。皮膚科の疾患は他科とオーバーラップすることが良くありますが、膠原病もその代表的な物です。特別な外来は設けていませんが、全身性紅斑性狼瘡、進行性全身性硬化症、皮膚筋炎などの診断に、皮膚からのア

照射装置はフル稼働の状態です。多数の患者さんが入院あるいは外来通院で治療を受けています。

皮膚科の疾患は他科とオーバーラップすることが良くありますが、膠原病もその代表的な物です。特別な外来は設けていませんが、全身性紅斑性狼瘡、進行性全身性硬化症、皮膚筋炎などの診断に、皮膚からのア

プローチ、皮膚生検による病理組織診断により少なからぬ役割を果たしていると考えます。特にシエーグレン症候群では特徴的な環状紅斑がみられる事が最近注目され、その早期診断に皮膚科が大きな役割を果たしています。また皮膚科に独特の感染

症として、皮膚真菌感染症が挙げられます。道北地区は酪農業が盛んな事から牛からの白癬菌感染や、猫、犬などのペットからの感染など、外来を訪れる皮膚真菌感染症の培養と同定を精力的に行い、道北地区だけでなく北海道全体の皮膚真菌症のセンターとして機能しています。

皮膚疾患は多くは内科的な疾患で占められています。皮膚科のもう一つの側面として外科的な要素が挙げられます。特に道北地区では形成外科が旭川市以外では開設されていない事から、皮膚科に於いて外科的治療は多くの割合を占めています。現在手術日は毎週金曜日のみですが、顔など露出部で美容的な問題がある部位の切除術、局所皮弁形成術、広範囲の皮膚欠損に対する遊離植皮術等を一年に一〇〇例程ですが行っています。また陥入爪の手術療法も多く手がけており、部分抜爪及びフェノール腐食術により良好な成績を得ています。

最近では皮膚の悪性腫瘍の中でも悪性黒色腫が徐々に増してきており、マスコミでもその病名が広く紹介されたため、一般の方が強い関心をもちます。皮膚科を受診される機会が増えてきました。この事で少しでも

早期の悪性腫瘍が発見される事を期待すると同時に、広く皮膚科が認識されれば幸いです。以上簡単ですが皮膚科の現況を紹介させて頂きました。現在は、旭川市内及び各地方の関連病院とのネットワークがほぼ完成しつつありますが、今後は専門科としてより一層の充実を計り、地域医療あるいは医学研究に貢献したいと考えております。(講師 松尾 忍)

【薬剤部】

副作用情報(20)

異常乳汁分泌を起こす薬剤

早期の悪性腫瘍が発見される事を期待すると同時に、広く皮膚科が認識されれば幸いです。以上簡単ですが皮膚科の現況を紹介させて頂きました。現在は、旭川市内及び各地方の関連病院とのネットワークがほぼ完成しつつありますが、今後は専門科としてより一層の充実を計り、地域医療あるいは医学研究に貢献したいと考えております。(講師 松尾 忍)

下垂体前葉ホルモンの一つであるプロラクチン(PRL)は、乳汁分泌調節、電解質代謝、脂質代謝、性腺刺激・抑制作用、羊水の浸透圧調節など、その多様な機能が知られております。またPRLは、他の下垂体前葉から分泌されるFSH(卵巣刺激ホルモン)、LH(黄体化ホルモン)などと異なり、視床下部から分泌されるドーパミンによって抑制的な支配を受けております。従って医原性に高PRL血症を起こす場合があるのは、視床下部にお

即ち、視床下部におけるドーパミンの含量を減少させるレセルピン、ドーパミンへの転換を阻害するα-メチルドパなどの降圧剤があります。更にドーパミンの作用を下垂体の受容体レベルで阻害することによりPRL値を上昇させる薬剤として、フェノチアジン系薬剤(クロルプロマジン、チオリダジン、ペルフェナジンなど)、ブチロフェノン系薬剤(ハロペリドールなど)、三環系抗うつ剤などの向精神薬、スルピリド、メトクロプラミド、ドンペリドンなどの消化器官用剤によるものが多く、添付文書の使用上の注意にも記載されております。またエストロゲンは主として下垂体細胞に直接作用してPRL分泌を促進します。これらの薬剤により異常乳汁分泌を起こしたり、女性化乳房などを来すことが知られております。

向精神薬での乳汁分泌発生頻度に関するデータは様々であり、クロルプロマジン服用患者の約80%に乳房圧迫による乳汁分泌をみたとか、100例の向精神薬服用精神病者の26%に乳汁分泌

をみたとの報告があります。また男性においてもPRL分泌の増加、あるいは性腺刺激ホルモン増加により精巣でエストロゲンが生成し女性化乳房が起こることがあり、先の薬剤の他にMAO阻害薬、イソニアジドなどでも報告されております。

H₂受容体拮抗薬のシメチジンは、アンドロゲン受容体をブロックすることにより女性化乳房を引き起こすと考えられております。その症状は軽度で投与中止により回復しますが、シメチジン100mg/日を四ヶ月以上投与の十二脂腸潰瘍男性患者25例のうち5例に女性型乳房をみたとの報告があります。

以上の他の薬剤としては、ベンゾジアゼピン系薬剤(クロルジアゼポキシド、ジアゼパムなど)、四環系抗うつ剤であるマプロチリン、下垂体機能検査に用いられているプロチレリンなどでも報告されております。

こうした薬剤による異常乳汁分泌に対しては、薬剤の中止、減量あるいは他剤への変更などで治癒するとされており、病的な乳汁分泌を抑える治療薬としては性ステロイド、クロミフェン、レボドパ、プロモクリプチンなどが試みられております。

病棟においては、七階西及び五階東で、通常は二五名前後、多い時で三〇名程度の患者を、主として三名の助手(現在は水永、森川、山口)が分担して診療いたします。三名の下ではそれぞれ一、二名の研修医が動き、宮田病棟医長が全体を総括する体制となっております。

診療科紹介

泌尿器科 大部分の症例は手術目的の入院ですが、化学療法のための入院も、常時数名居る状態が続いており、ベッドインレーターがフル稼働しています。疾患別のグループ分けは、特殊な病態を除いては厳密にはしており、それぞれのグループで



腫瘍性疾患(膀胱腫瘍、前立腺腫瘍が多い)、前立腺肥大症を中心とする排尿障害、尿路結石が主たるもので、五階東病棟では大部分が停留尿、尿道下裂等の先天性疾患です。最近では尿失禁やインポテンス治療目的の入院も増えてい

後、手術を行なっています。金曜日には、翌週の手術患者に関する検討を行なう早朝カンファレンス及び午後には教授総回診があり、病棟全体のチェックが行なわれます。

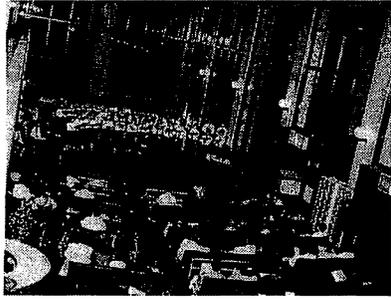
外来診療は月、火、木、金曜日に初診を、火、木、金、土曜日に再診を行なっています。金曜日の初診は八竹教授が、その他の日は主として徳中助教授、金子講師が初診を担当しています。再診担当は週により変更することがありますが、現在原則的には、火曜は藤井、水曜は木曜は岡村、森川、金曜は橋本、宮田、土曜は岡村、藤井がそれぞれ担当しています。いわゆる特殊外来は設けておりませんが、特殊なケアを要する患者については、それぞれの受持医が一般再診とは別に予約を行ない、診療を行なっています。最近では外来患者が増加し、一般再診二人では待ち時間が長くなる傾向があるため、外来の改装と合わせ、担当を三人にするにも検討中です。

外来の日常の検査は、I.V.P等のX線検査、膀胱内圧測定等のいわゆるウロダイナミクス検査、膀胱鏡、超音波検査(経尿道、経直腸スキヤンも)が主たるもので、それぞれその日の検査担当医が、あるいは診察

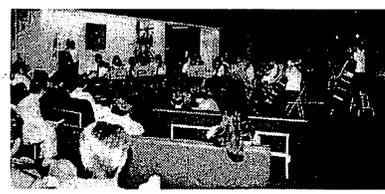
医が直接行なっています。これらの検査結果等は、毎週金曜日、病棟総回診の後に行なわれる外来カンファレンスで再チェックを受けることになっております。

去る十二月二十一日(金)午後六時から、十二月二十三日(日)午後三時から、病棟正面玄関ホールで、それぞれ本学学生の合唱部と室内合奏団によりクリスマスコンサートが開催されました。会場には車いすや点滴をつけたままの患者さんや、看護婦、教職員らのべ二百数十人が詰めかけ「もろびとこぞりて」「きよしこの夜」などクリスマスソングを響かせ聴衆を魅了しておりました。

科のお世話をさせたいただくこともありますし、こちらがお世話になることも多々あります。医療が複雑化するにつれ、複数の診療科の協力体制が益々必要になって来ると思われます。今後どうぞ宜しくお願い致します。(講師 橋本 博)



合唱部



室内合奏団



(前列左端が村本さん、後列左から二人目が津嶋さん)

去年九月十二日から二日間、オランダのスラウ・ハーレンで行なわれた世界選手権綱引き大会に、日本代表として出場致しました。

オランダは世界的にも綱引きのメッカであり、特に日本と違うのはアウトドア(外の芝生の上で行う)が主流であり、三日間にかけ

て大会を行っている所です。初日の十二日は、アウトドアの大会でした。日本はアウトドアの大会は有りませんので、私達のチームは、

練習に関して試行錯誤でした。シューズも無くて、監督の手造り(ゴルフシューズに鉄を付けた物)でした。結果は当然、全敗に終わりました。兩上りだつたせいで、全員泥だらけになつての試合でした。他チームはシューズが違つていました。革で出来ていて、バスケットシューズを長めにした感じが付いている物でした。芝生に踵をくい込ませて相手を引かせない、と言う役割を持つていた様です。私達に「このシューズでは勝てないヨ」と指をさして笑っていました。でも日本のユニホームが新しく目立つたせいか? 「このシューズとユニホームを交換しよう」と言われ、私達の監督が必死に「ノーチェンジ」と言つていました。日本の大会では、どこのチームもユニホームは目立つのですが、海外のチームは、汚れていても平気だし、破れても平気なやつも平気だ、破れても平気なやつに写りました。この点を見ただけでも「日本は恵まれた国なのだナァ」とつくづく思われました。十四日はインドア(屋内)の大会でした。この大会に私達は賭けていました。ただ不利な事に、体重制限があり、日本の大会では、女子八人で四八〇kg以内に對



し、世界大会では、女子五六〇kg以内と決まっている事でした。この八〇kgと言う大差を、ハンディとして背負う事に成りました。一応体重増加に努める事に成るのですが、「筋肉を付けながら体重を増やして行く」と言うのは、実際行つて見ると、本当に難しい事でした。脂肪が付いては自滅するし、筋肉トレーニングをすると、逆に体重が減つて行く人が出て来たのでした。色々な問題を抱えながらも、結局は現状のままで行こうと大会に臨む事になりました。その結果、五勝二敗で、第三位でした。「世界の壁は厚い」とつくづく思われました。大会会場では、立つていると小柄に見える日本チーム。(日本では違うのですが…) 圧倒された他チームの体格。その人達に声をかけられても返す言葉がわからず、笑つてごまか

すばかり。場内アナウンスも、当然オランダ語で、聞きとれた言葉と言えば、JAPANのみでした。その都度、右往左往してしまいました。会話も上手に出来ないながらも、廻りの人達は、皆さん優しくして下さいました。ジェスチャーと片言の英語で、何とかお友達も出来ました。89の日英親善綱引き大会が岐阜県で行なわれた時に、イングラントのチームが来ていました。その時にお友達になつた人達も来ていたので、再会を喜び合いました。プレゼントを頂いたり、チームのワッペンを頂いたり、バングダナを交換したり、写真を一緒に撮り合つたり、

机の上には色々な辞典が不整然と並んでいる。いわゆる外国語―日本語辞典、国語漢和辞典、医学用語辞典、ことわざ辞典などの他に、ポデインコンがわからず軽蔑された時に買い込んだ現代外来語辞典や情報辞典、そして知恵蔵は自宅に置いてある。最近の日常会話での外来語カタカナの氾濫は凄まじい。標題のカタカナの意味は、高度先進医療

苦しい試合でしたが、その中にも綱引きを通じた仲間が、日本はもとより、海外にも出来た事は、忘れられない思い出になりました。これから先、限らない体力があれば続けたいのですが、限界があります。新人の養成に努めながら、徐々に現役を引退しようと考えています。二月十日、全国大会があります。新メンバーの旭川BLを、どうか応援して下さい。最後に、世界選手権の際、皆様多くの方々に看護部を通じて、たくさんのお御支援を頂きまして、本当に有り難うございました。

に日夜取り組んでいる我が病院関係者にはすくおわかり頂けるものと思うが、ちなみに、ピュアモルトは某メーカーのアルコール、ネオモルトは新死体といって、脳は死んだけれど身体は生きている状態のこと、ケイオスはカオスの英語で混沌のことである。もつて廻つた緒言の理由は、新年早々代用臓器研究会を開催するにあたり主題を臓器移植としたために、脳死と移植に関する資料を少し読んだ事による。

生体部分肝移植も好成绩

を示し、マスコミの論調も好意的だし、各アンケート調査でも脳死と臓器移植を5割弱の人達が認めてきている。移植に向かつて良いムードと思いきや、極めて根強いしかも手強い反対票に些か驚いた。呼吸、脈拍が弱くなり、いつしか止まって瞳孔が開く。幾度となく経験した厳肅な人の死。いわゆる三徴候説による死の確認。ところが人工呼吸器や人工心臓の出現は、この判定法を混乱させた。しかも最近ではネオモルトの管理技術の進歩により、いくらでも心停止を引きのばせる。

反対票の大きな理由は、脳死(脳の不可逆的機能停止をもって個体死とする)は100%正確に判定できない(なる程、国や年代により判定基準が異なる)こと、そして、腎臓や心臓移植の延長線上の脳の移植(頭の筈げ替えは二十年前に成功している)をとても容認できないことなどである。限りなく脳死に近くとも、また近いうちに必ず死ぬ事がわかっているに、死でない以上、いくら惜しみない愛の後押しされたいように、心臓や肝臓を摘出することは殺人となる。内臓の病気で余命幾何もないが、もう少しでノーベル賞級の仕事が完成するといったとき、

を、マスコミの論調も好意的だし、各アンケート調査でも脳死と臓器移植を5割弱の人達が認めてきている。移植に向かつて良いムードと思いきや、極めて根強いしかも手強い反対票に些か驚いた。呼吸、脈拍が弱くなり、いつしか止まって瞳孔が開く。幾度となく経験した厳肅な人の死。いわゆる三徴候説による死の確認。ところが人工呼吸器や人工心臓の出現は、この判定法を混乱させた。しかも最近ではネオモルトの管理技術の進歩により、いくらでも心停止を引きのばせる。

バドミントン部

バドミンントンの起源

バドミンントンを紹介する前にバドミンントンの起源について「バドミンントンの地はインドですが、十九世紀半ばインド駐在の英国軍人によって、英国に伝えられ以後世界各国に普及したといわれ、また、『バドミンントンの呼び名は、英国のグロスターシャーに近いポーフト公領バドミンントン村での競技が行われてから『バドミンントン』と呼ばれるようになった。』という事になっていきます。ところで、このバドミンントンですが、誰でもどこでも手軽にできるスポーツとして多くの人に親しまれています。所がこれがなかなか奥の深いハードなスポーツであることに多少なりとも

部の変遷
部の歴史は大学の創設とともにさかのぼります。昭和四十九年八月待望の体育館竣工を待ちかねたように忙しい職務の間をぬって昼休みに同好者が集まって練習が始まりました。こうして体育館で汗を流しているうちに、一人また一人と同好の志が増え始め、ここによくやく十人程度で同好会が結成されました。部として体制が整い対外試合にも活躍を始めたのが昭和五十二年頃からで、部員も男子十名、女子七名位になり、名実共に職員の運動クラブとして充実発展しました。ところが転勤や退職で、主力選手が一人また一人と退部し、昭和六十二年頃にはあ

でいわれた時がありました。現在は、人数は十四〜五名になり以前程ではないが着実に新入部員の実力もついてきており、それなりに部として活躍しています。

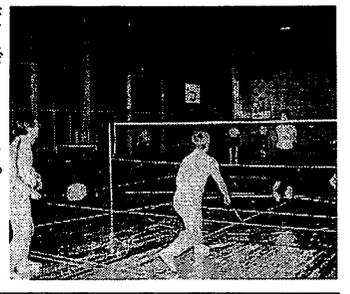
バドミンントンの魅力

この辺でバドミンントンの楽しさ面白さについて。一見羽根つきのようですが、なんとスマッシュの速さは初速が時速二〇〇km以上とあらゆるスポーツの中で最も速い。ところがスマッシュでもカットをかけた時などは、予想以上に急激に弧をえがいて失速し、さらに数種類のストロークについてもかなりスピードの

部として体制が整い対外試合にも活躍を始めたのが昭和五十二年頃からで、部員も男子十名、女子七名位になり、名実共に職員の運動クラブとして充実発展しました。ところが転勤や退職で、主力選手が一人また一人と退部し、昭和六十二年頃にはあ



変化があります。もちろんこの球種を身に着けるまでには若干の年月がかかるが、この様なことができなくても一見羽根つきのように見えるスポーツですから初心者も十分楽しめます。ついでに、シャトルの知識を。水鳥の羽根十六枚からできていて羽根の長さ約六十五mm、羽根の重さ約五g。たった五g程のシャトルが初速が時速二〇〇km以上も出るとは、以外ではありません。片面積六・七m横六・一mのコートの中を体力、気力、勘そして運動神経をフルに發揮して前後左右に動き回る。こんなに激しいスポーツですが、冬の長い北海道に適していると思われるのは、屋内体育館等場所さえ確保できれば一年中できることです。



樽商大、旭川医大) 交歓試合その他できるだけ参加しているのが旭川近郊の教職員対抗試合、市町村対抗試合、市民大会等で、今のところ以前程ではないが少しずつ成績は上向きになってきています。練習は昼休みと水曜日の午後五時から七時まで、特に水曜日は基礎練習から始まって練習試合と二時間びつり行うと真夏などはウエアが汗でビショビショになるほどです。

心身共に健康

部の他の楽しみは、いろいろあります。なんといつでも汗を流した後、さらなる技術の向上を目指してコミュニティションをしながらの冷たいビールはなにより楽しみです。年間の行事も盛り沢山。花見、海水浴、観楓会、忘年会と一通りこなし、おおいに盛り上がっています。勿論場合によっては家族同



《試合数と練習量》
対外試合で必ず行われているのが三大学(北大、小

(第二外科 講師 葛西真一)

伴で。

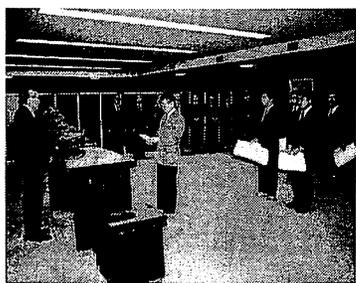
「バドミントンへの誘い」

この記事を読んでバドミントンをやってみたい人又は以前多少の経験があったりもう一度チャレンジしてみたい人がいましたら体育館へ来てみてください。余暇

永年勤続者表彰式 行われる

本学の永年勤続者表彰式が勤労感謝の日を前にした去る十一月二十二日(木)午後四時三十分から部局長及び所属長の列席のもとに第一会議室において行われました。

表彰式は、国又は地方公共団体の職員として二十年以上(うち本学に十年以上在職)の永きにわたり勤続し、職務に精励された被表彰者五名に下田学長から表彰状と記念品(銀杯)が



が増えて時間を持て余している人、運動不足な「あなた」是非参加してみてください。

身体の健康に良いことは勿論のこと、心の健康にも必ずいいことを保障します。(監督 大倉 毅)

贈られました。次いで、学長からお祝いの言葉が述べられ、これに対して被表彰者を代表して、田村 正秀氏(外科学第一講座、助教)から謝辞が述べられました。

式終了後、引き続き第二会議室において、祝賀会が開催され、永年にわたる思い出話に和やかな懇談のひとときを過ごしました。なお、被表彰者は次の方々です。

- 田村 正秀氏 (外科学第一講座)



夜間消防訓練実施される

さる十一月八日(木)午後七時から、本学防火管理規程に基づき本年度二回目の消防訓練が実施されました。

今回の消防訓練は、初めての試みとして勤務時間外(夜間)に発生した病院火災に於ける通報連絡・初期消火・避難誘導等の連携即応体制の検証を行い、さらに充実した緊急体制の強化確立を計ることを目的として実施しました。

社会福祉施設及び病院は、夜間・休日等に火災が発生した場合に、大きな人命被害を出す可能性のある施設とされており、平成年九月にこれらの施設を対象に『夜間の防火管理体制指導要綱』が出され三年間の内にこれに沿った夜間訓練を実施するよう全国的に指導が普及されてきております。本学においても、旭川南消防署から病院において夜間消防訓練を実施するよう要請されており、これを受けて今回の消防訓練は夜間に実施することになりました。

病院で火災等が発生した時、其処に勤務する健常者である職員が常に念頭に入れて考えなければならぬ事は、弱者である患者の安全確保であり人命被害を絶

- 松井 英夫氏 (病理部)
- 藤井 昇造氏 (会計課)
- 今田 正義氏 (施設課)
- 伊藤 茂氏 (学生課)
- (庶務課職員係)

なお、今回の夜間訓練について、旭川市消防署管内の病院では消防庁が出した指導要綱に沿って実施するのは本院が初めてであり旭川南消防署からは副署長をはじめ多数の署員が立会い訓練終了後、二階玄関ホールにおいて訓練に対して副署長からは次のような講評



- ① 今回の訓練は、旭川南消防署管内の病院では初めてであり、消防署としても大変参考になった。
- ② 避難誘導は非常に厳しい状況の中で行われるものである(模擬)を含めて状況の把握徹底が必要である。
- ③ 消防隊には綿密な情報を入れる事を考慮して欲しい。
- ④ 担架で患者を搬送する時は、履物等にも十分な注意を払う必要がある。スリッパ、サンダル類では危険である、せつかく

助けた患者に怪我等をさせては大変であり、靴もしくは裸足になってやる必要がある。

⑤ 訓練は、恥ずかしがらずに大きな声で行うことが大切である。

⑥ 訓練は総体的に非常に素晴らしい訓練であった。以上、個々の行動等については、まだ改善する余地があるが全体的には非常に高いレベルの訓練であるとの評価をうけております。後日、今回の訓練実施結果を、『夜間の防火管理体制指導要綱』により検証した結果、非常に満足の結果を得られました。これは、勤務時間外にも係わら

がりました。① 今回の訓練は、旭川南消防署管内の病院では初めてであり、消防署としても大変参考になった。② 避難誘導は非常に厳しい状況の中で行われるものである(模擬)を含めて状況の把握徹底が必要である。③ 消防隊には綿密な情報を入れる事を考慮して欲しい。④ 担架で患者を搬送する時は、履物等にも十分な注意を払う必要がある。スリッパ、サンダル類では危険である、せつかく



ず参加協力をしてくれた職員が真剣に対処してくれました結果であると考えております。今後とも協力方よろしくお願いいたします。防火の大役 あなたが主役 (会計課)